

会 議 録

会議の名称	次期和泉市総合計画等策定委員会（令和5年度 第3回）
開催日時	令和6年3月11日（月） 午前10時00分から午前11時30分まで
開催場所	和泉市役所 庁議室
出席者	【出席者】 森吉副市長、吉田副市長、小川教育長、小泉参与、山本危機管理部長、 並木市長公室長、前田総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、 立花市民生活部長、藤原子育て健康部長、土本教育・こども部長、 八木都市デザイン部長、辻生涯学習部長、林田上下水道部長、 岡田消防長代理、藤原行政委員会局長、井阪議会事務局長 【事務局】 （政策企画室） 東政策企画室長、藤井企画経営担当課長、田嶋政策・資産マネジメント担当課長補佐、 中総括主査、江口主査、岸尾主事 （人事課） 奥課長、富岡課長補佐 （財政課） 古川次長、門林課長
会議の議題	1. 人口ビジョンの策定について 2. コンサル事業者の選定について
会議の要旨	和泉市人口ビジョンについて、素案を示し、掲載内容やレイアウトについて共有した。 また、来年度行うコンサル事業者の選定にあたっての仕様書や採点表について説明した。
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

	【次第1 人口ビジョンの策定について】
事務局	（事務局【政策企画室】から、次期人口ビジョンについて説明） 次のような質疑等があった。
林田部長	○10 ページで転出入者の人数を示しているが、一見して何年間の総数であるかがわかりにくい。
事務局	○記載方法について検討する。なお、5年間の総数を示しており、最終的には令和5年度までのものとする予定。
立花部長	○5 ページの自然動態に関する説明が、社会動態の説明と混同していると感じる。
事務局	○表現について検討する。
土本部長	○13 ページの推計人口のグラフで前回目標を赤字で記載しているが、あえて記載する必要はないのでは。
森吉副市長	○目標値をどこに設定していたか、実際はどうであるかを示すことは有意義であると思う。また、前回の人口ビジョンに触れておいた方がよいようにも思う。記載の仕方は工夫が必要。
土本部長	○今後の見通し部分の記述に追記するような形などでもいいのではないか。
事務局	○意見を踏まえ記載方法について検討する。
西川部長	○10 ページの転出入者について、年代はわかるのか。転出入とも兵庫県が一番多く、若者の異動によるものかなど参考データとしてあれば共有いただきたい。
事務局	○年代も把握できるか確認する。
小泉参与	○グラフ等の色使いに統一感に欠ける部分がある。
事務局	○再度見直し、統一感をもたせるように修正する。
山崎部長	○13 ページの前回目標の記載については、前提となる条件が前回と今回では異なるため、単純比較できない。前回は上位・下位推計を作成していることから、例えば2本の推計をグラフで示してもよいのではないか。 また、各課での個別計画の作成に際して独自に推計を出しているケースもあるが、推計

	作成後は各課へも共有し、今後はこの数値を使ってもらう想定か。
事務局	○少なくとも推計期間である8年間は、今回の推計を基に作成していただきたい。
山崎部長	○すでに作成しているものについては、更新が必要となるのか。
森吉副市長	○基本は更新が必要であり、今後作成していく際は、本ビジョンを基にすることと思うが間違いないか。
事務局	○その通りである。なお、人口ビジョンについては、年齢5歳区分ごとの作成となっているため、作成する推計の条件に沿わない場合があることご留意いただきたい。
山崎部長	○庁内で人口ビジョンを使った計画は現状でどの程度あるのか。
事務局	○数については把握していない。
森吉副市長	○今後、計画策定にあたって人口ビジョンを使う際は政策企画室に報告を願う。
辻部長	○今回、目標人口を示さない理由はなにか。
事務局	○前回ビジョンでは、国の目標とする高い合計特殊出生率を用いて上位推計を作成し、その数値を先に目標として設定したうえで、それを実現するための施策を総合計画等で示していた。今回は、令和5年第3回定例会協議会で報告したとおり、人口の現状分析を行ったうえで現実的な推計を作成し、これを上回ることを目標としているため、ある一時点での数値を目標とはしていないためである。
小泉参与	○前回ビジョンでは、国も目標人口を定めており、市としても目標値を設定した経過があった。現在の状況はどうなっているのか。
事務局	○国の総合戦略では人口減少に歯止めをかけるためと、目標人口を設定している。
小川教育長	○グラフタイトルのフォントサイズが小見出しより大きい。全体的に各ページの題名が見やすいように調整されたい。また、色使いについては色弱の方にも配慮した色使いとすべきである。
事務局	○検討していく。
森吉副市長	○他に意見等ないか。なければ続いて事務局より説明を願う。
	【次第1 コンサル事業者の選定について】
事務局	(事務局【政策企画室】から、仕様書および採点表について説明)
	次のように質疑等があった。

吉田副市長	○今回の会議で採点表の配点まで含めて決定するのか。
事務局	○そのとおり。問題ないようであれば、配点を含め本案に基づき進めたいと考えている。
辻部長	○作成にあたって根幹部分である仕様書のアンケート調査や意見聴取、各課ヒアリングについてもう少し詳細に書く必要があると思う。また同様に意見集約・分析についてももう少し配点を増やしてもよいと思う。
事務局	○現状は、まちづくり部分を重視した配点としているが、再度検討していく。
吉田副市長	○示された案では、現状分析や施策の提案力などを事業者に期待するような配点である。市政の方向性を示すのは誰なのかということを基準に配点を決定してくべきである。
前田部長	○動画も納品してもらうとのことなので、成果物に追記すべきではないか。
事務局	○全体を通して抜けがないか、事業者に分かりやすいよう確認、修正する。
森吉副市長	○他に意見等ないか。なければ事務局より報告案件の報告を願う。 (事務局から、コーディネーターの選定について報告) (特段の意見・質問はなかった) (事務局から、各課ヒアリングシートについて報告) 次のように質疑等があった。
小泉参与	○新規事業も大切だが、事業の棚卸や継続・廃止の見極めが重要になってくる。
門林課長	○事業実施にあたっては財源が必須となるため、既存事業の費用対効果などを各課にも確認してもらう必要があると認識している。
小泉参与	○少額であっても見直しは積極的に行っていただきたい。
土本部長	○各課への照会時期や期間はどうなっているか。
事務局	○4月初旬に各課照会を行い、5月中に回答いただくことを予定している。
吉田副市長	○部局長の役割が不明確。どの時点でどのようなツールを用いるかを示すべき。
事務局	○具体的には示していないが、部局長の考えなどを課内で共有しながら指示してもらうことを想定している。

吉田副市長	○複数課にまたがるような事業であったり、より広い市政全般への考えなどはどこで示されるのか。様々な方法が考えられると思うが明確に示す必要があると思う。
事務局	○課ごとではなく全体についてヒアリングを行い連、携する事業についてもヒアリングする予定である。市政全般については、様々な方法が検討されることからコーディネーターにも助言をもらいながら整理していきたいと考えている。
小泉参与	○前回の総計策定時にも議論のあったところ。前回は各課からたたき台となる案を出し、政策企画室にてとりまとめ、特別職からの意見などを交え最終的に策定委員会で将来ビジョンを策定するというボトムアップ的な方法を採用した。今回はどのような方法とするか決める必要はある。
吉田副市長	○総論から各論なのか、各論から総論をまとめていくのか、やり方は様々であり、正解もないが、早期に決定する必要があると思う。ビジョンが明確でないと市としての方向性が曖昧になる。
森吉副市長	○今すぐに将来ビジョンを決めることも難しいし、テーマがないままでは各論的な部分がばらばらになる可能性もあるため、注意しながら策定していく必要がある ○他に何か意見あるか。なければ、事務局からその他事務連絡を願う。
事務局	○次回は4月下旬ころに人口ビジョンについて最新の数値を反映のうえ、書面開催を予定しているのでご確認願う。
森吉副市長	○それでは、本日の次期和泉市総合計画等策定委員会については以上とする。
(11:30 終了)	

会議の意見を踏まえた対応
○人口ビジョンについて、色使いや記載方法などの見直し ⇒ みやすさ、わかりやすさを考慮し、再度検討する ○仕様書・採点表について意見集約・分析をより重視する ⇒ 再度検討する ○各課ヒアリングシートについて意見聴取の方法を整理する必要がある ⇒ コーディネーターの助言も参考に整理していく